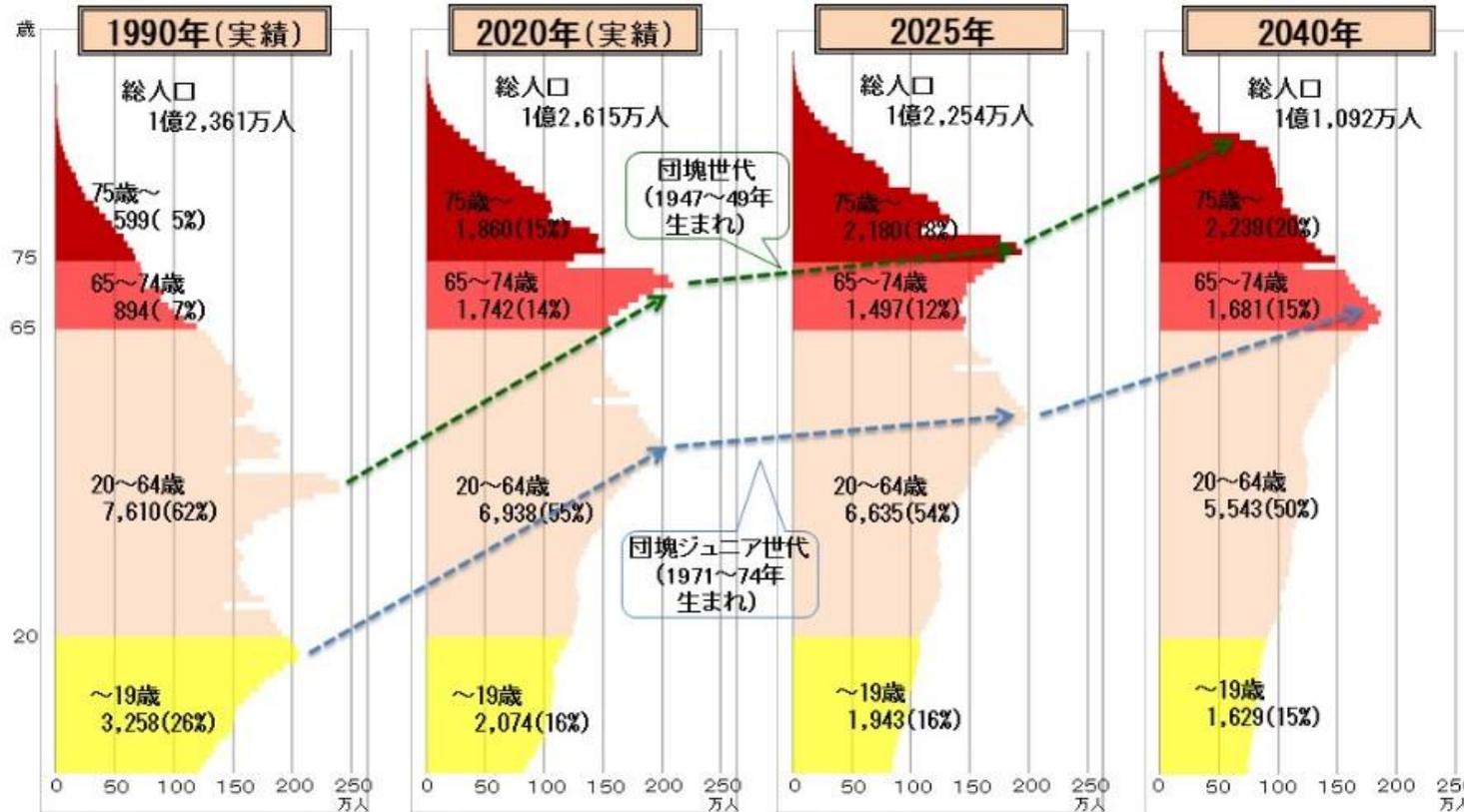


# 高齢化社会の現状と問題点 ①

## 日本の人口ピラミッドの変化

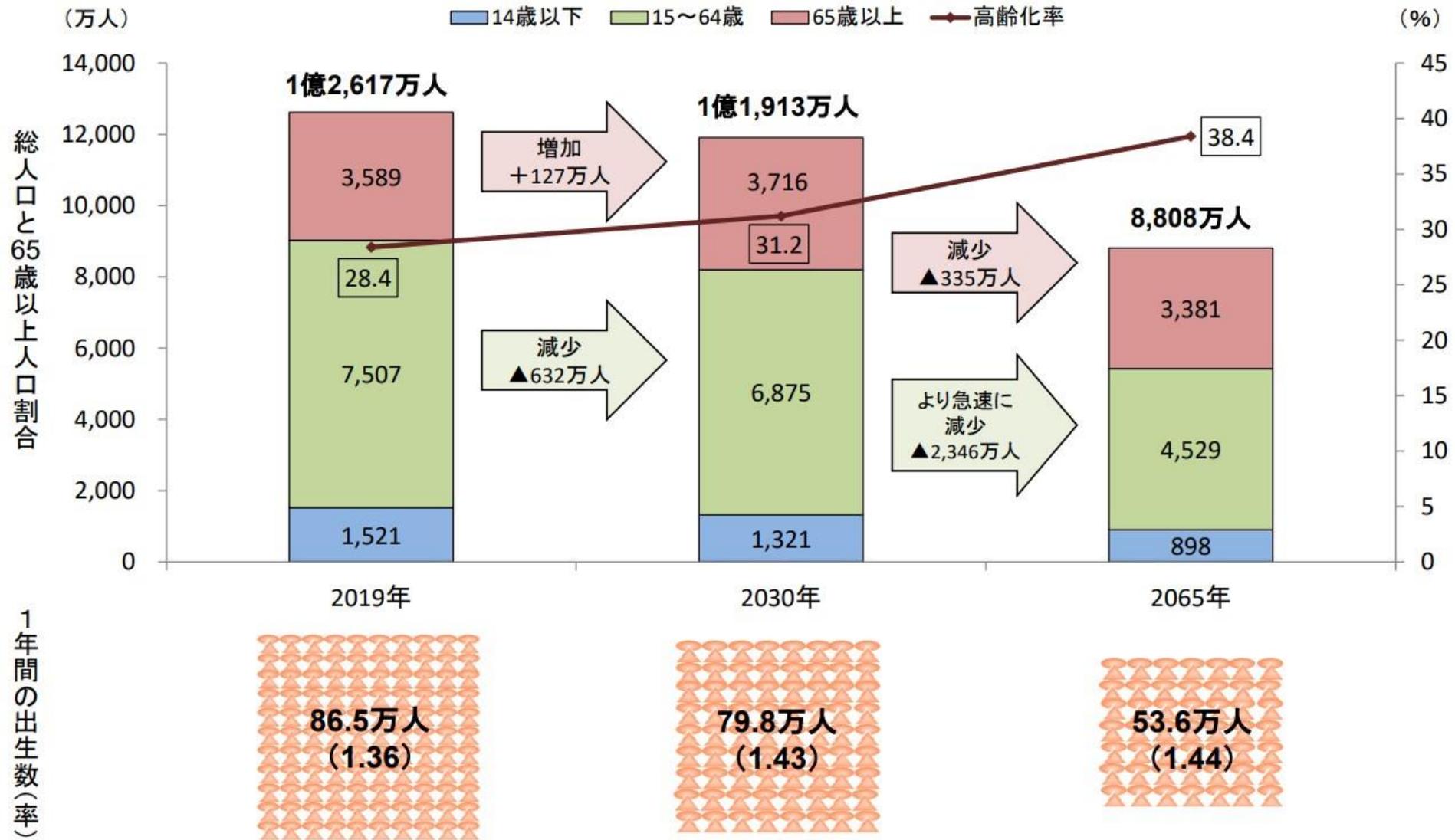
○団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。  
 ○2040年には、人口は1億1,092万人に減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約35%となる。



2040年には、  
日本人の3人に1人が  
65歳以上の高齢者  
となる。

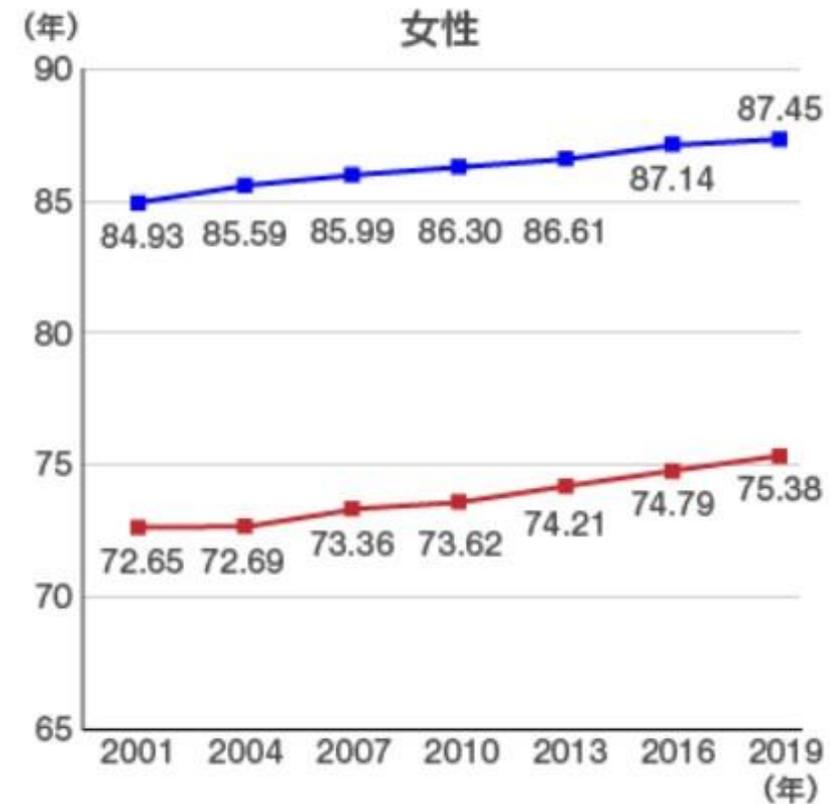
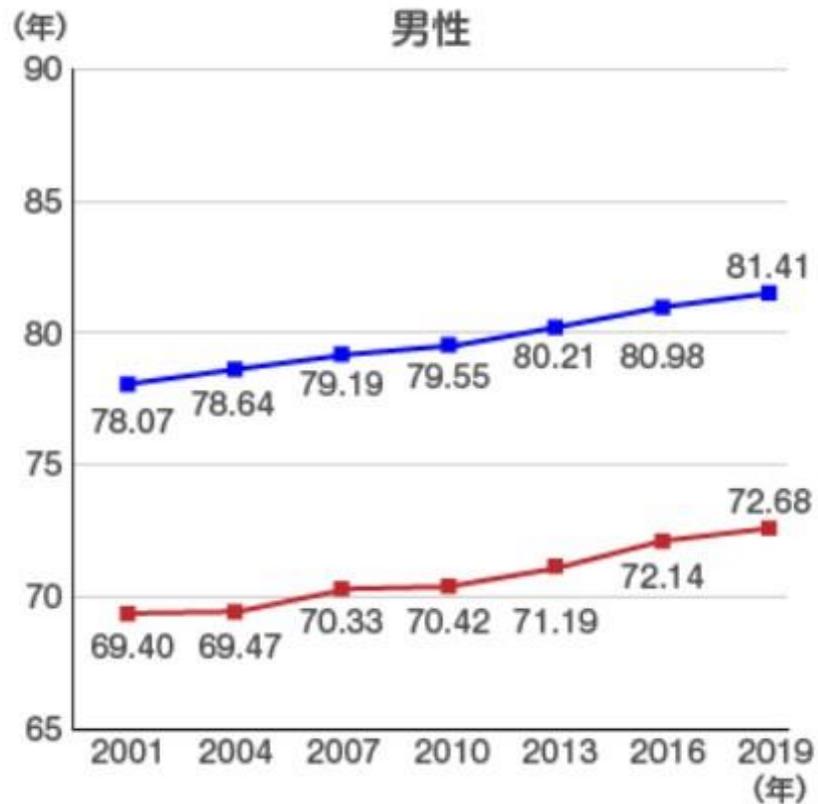
(出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」「(出生中位(死亡中位)推計)

# 今後の人口構造の急速な変化



(出所) 総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口) 厚生労働省「人口動態統計」

# 高齢化社会の現状と問題点 ②



日本人の平均寿命は、男性が81.41歳、女性が87.45歳。  
しかし健康寿命（平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間）は、それよりも10歳ほど短い。

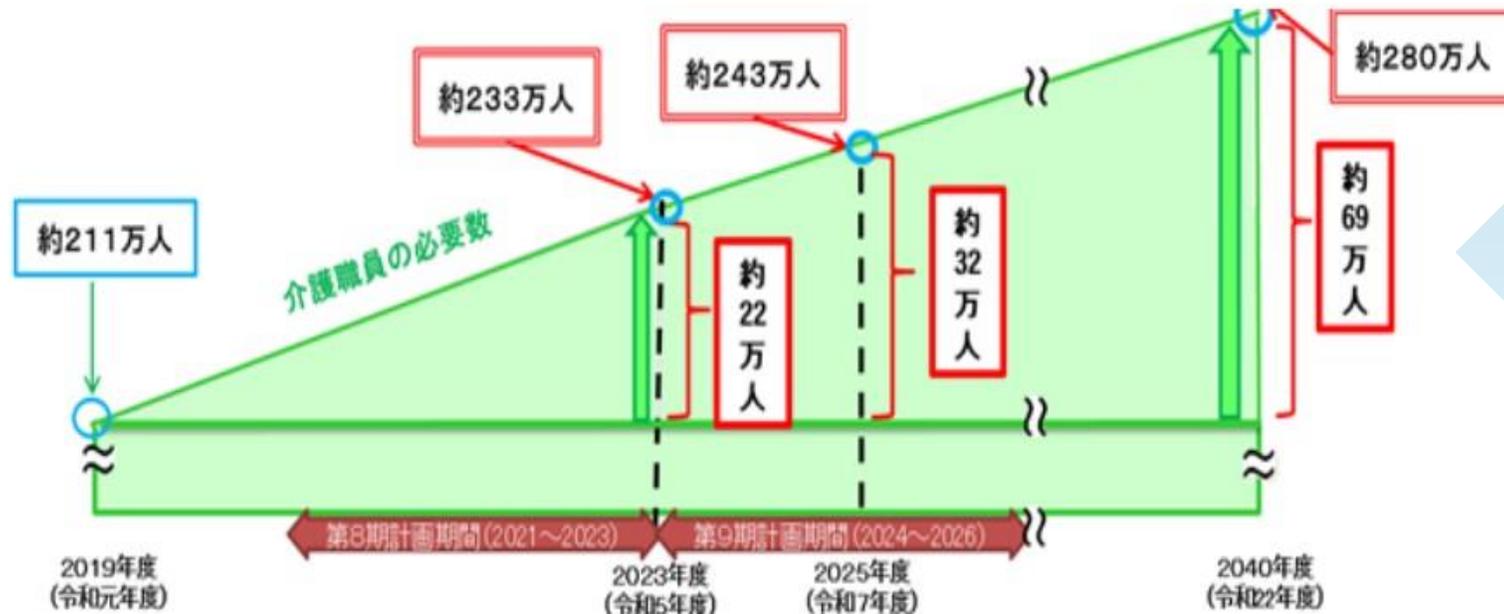
## 第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について

令和3年7月9日に第8期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を公表しました。

これによれば、

- ・2023年度には約233万人（+約22万人（5.5万人/年））
- ・2025年度には約243万人（+約32万人（5.3万人/年））
- ・2040年度には約280万人（+約69万人（3.3万人/年））※（）内は2019年度（211万人）比

の介護職員を確保する必要があると推計されています。



現状のままでは、  
2040年度には  
介護職員が  
約69万人も  
不足する。

（「第8期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について（令和3年7月9日）」別紙1より）

# ひと口に「介護職」というけれど ①

働く場所も、働く内容も、さまざま

## <主な仕事内容>

身体介護	食事や移動、入浴、着替え、排せつサポートなど
生活支援	掃除や洗濯、食事の支度、買い物など
その他	生活相談、レクリエーション、病院等への付き添いなど

## <施設の種類の種類>

入所型	介護を必要とするお年寄りが入所、入居して介護サービスを受ける施設です。	有料老人ホーム 特別養護老人ホーム グループホーム 等
通所型	介護を必要とするお年寄りを日中受け入れる施設です。	デイサービスセンター 等
訪問型	介護が必要なお年寄りの家を訪問して、介護サービスを提供します。	利用者の自宅 等

# ひと口に介護職というけれど ②

## 役割や資格もさまざま

介護職員初任者研修	基礎的な介護のスキルを学ぶための研修です。
実務者研修	介護に関する専門的な知識と実践的な技術を習得する研修です。
介護福祉士 ※国家資格	介護関係の中で、唯一の国家資格です。介護に関する総合的な知識を身に付け、チームリーダーとして活躍することができます。 また施設に配置が義務付けられている生活相談員（ソーシャルワーカー）として働くことができますようになります。
ケアマネージャー (介護支援専門員)	介護サービスを利用する人の意向や状況を踏まえ、適切な介護のプランを考える重要な仕事。 ケアマネージャー試験を受けるには、介護福祉士等の資格と5年以上の実務経験が必要です。

# 介護福祉士資格取得までの流れ

